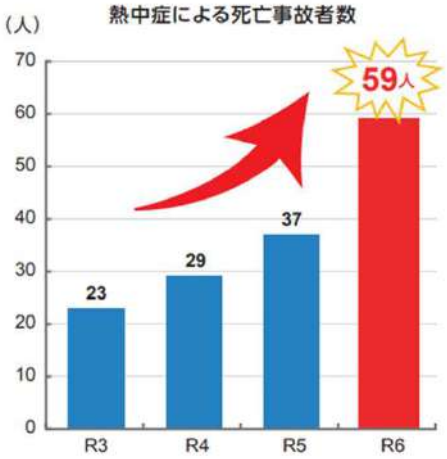
農作業における
熱中症等対策研修資料

簡易版

夏季の農作業中の死亡事故が急増しています！
4月1日～6月30日は熱中症等対策研修強化期間です。
正しい安全知識を学び、暑さから命を守りましょう。

● 近年、農作業中の熱中症等による死亡者が増加しています。

● また、令和6年の5月～9月は、熱中症以外にも高所からの転落や草刈り作業中等の事故が増加しています。夏場の高温による疲れなどが、事故の発生に影響しています





熱中症対策①　休憩、水分・塩分補給と対策アイテム

休憩時には、
水分・塩分補給をしましょう

- こまめに休憩、水分・塩分補給しましょう。
- 水分補給には、カフェインが含まれていない水や麦茶が適当です。大量に汗をかいた後は、塩分・糖分を含むスポーツドリンクが最適です。
- 経口補水液は、熱中症の初期症状が出た際には、経口補水液が効果は高いですが、乗用することはやめましょう。



体温上昇を防ぐ



ファン付きウェア

身体に風を吹き込み、気化熱で涼しい



冷却ベスト

保冷剤などで身体を直接冷やす。ファン付きウェアの組合せも◎

自身の体調を知る



ウェアラブル端末

深部体温や体温の水分バランスを計測し、休憩や水分補給のタイミングをお知らせ

休憩方法を改善する



シェード付きチェア

日陰での休憩で、熱中症リスクを低減



冷却ベスト

保冷剤などで身体を直接冷やす。ファン付きウェアの組合せも◎

何かあったときに備える



救急セット

経口補水液や冷却ぐっじ、きれいなど一式を準備

位置情報共有アプリ

意識が朦朧としたときの詮索に有効

熱中症対策②　農作業の省力化・軽労化

熱中症等の夏の農作業事故リスクを低減するためには農作業を省力化・軽労化することが有効です。
スマート農業技術や農業サービス事業者の活用等を検討しましょう。

ドローンサービスによる
農薬散布・追肥





高軒高ハウス



遠隔操作による
かん水ポンプの
起動



自動草刈機



収穫機



省力樹形への転換

このような取組を進めるために、以下の事業も活用可能ですのでご検討ください。

スマート農業・農業支援サービス事業
加速化総合対策事業
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html

スマート農業・農業支援サービス事業
導入総合サポート事業
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/sumaten.html

グリーンな生産体系加速化事業
https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/green/index.html

熱中症対策かなと思ったときの応急処置

少しでもおかしいと思ったら、無理せず休むことが重要です。

軽症のとき

めまい
立ちくらみ
手足がつる
こむら返り

- 涼しい環境へ避難しましょう。
- 服をゆるめて風通しをよくしましょう。
- 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう。
- 水分・塩分を補給しましょう。



中等症以上のとき

頭痛
嘔吐
倦怠感
虚脱感
集中力や判断力の低下

躊躇しないで、救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間、作業着を脱がせ全身を急速冷却しましょう



熱中症は救急車到着までの応急手当が運命を左右します
対応を誤ると取り返しがつかないことになります

研修お疲れ様でした！ このほか、農作業安全対策に関する資料をまとめている
農林水産省のHPを是非ご確認ください。
また、研修資料の感想について、アンケートの御協力をお願いします

農林水産省HP　アンケート

7月1日～9月30日　熱中症等対策声かけ期間
―キャッチフレーズ―
“いのちをうばう、夏のひとり作業”

農作業中の熱中症事故の多くは1人作業で発生しています。
大切な人の命を守るため、家族や地域で声を掛け合いましょう！